



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月28日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社三栄コーポレーション  
コード番号 8119 URL <http://www.sanyeicorp.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林敬幸  
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 小平敏之 TEL 03-3847-3500  
四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	10,404	△10.4	235	△42.1	303	△9.4	211	3.6
29年3月期第1四半期	11,614	2.6	406	80.5	334	14.1	203	△13.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 245百万円 (－%) 29年3月期第1四半期 △280百万円 (－%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	88.42	86.83
29年3月期第1四半期	85.69	83.90

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	20,865	12,814	60.9	5,319.73
29年3月期	23,057	12,807	55.1	5,319.98

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 12,715百万円 29年3月期 12,701百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	60.00	—	100.00	160.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		60.00	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 記念配当 40円00銭（創業70周年記念配当）

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,000	△1.0	750	△34.5	750	△19.6	400	0.1	167.35
通期	50,000	0.4	2,100	△22.4	2,100	△13.8	1,300	△9.0	543.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規一社（社名）、除外一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	2,552,946株	29年3月期	2,552,946株
30年3月期1Q	162,734株	29年3月期	165,514株
30年3月期1Q	2,389,152株	29年3月期1Q	2,379,258株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外情勢に不透明要因が多い中、企業収益や雇用情勢が改善し、設備投資や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな景気回復基調が続きました。

こうした状況下、当第1四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、前年同期比10.4%減少の104億4百万円となりました。

利益面につきましては、売上総利益率は改善したものの、売上高が減少したことから、売上総利益は前年同期比1億4百万円減少の29億2千3百万円となりました。営業利益につきましては、販管費が増加したことから、前年同期比1億7千1百万円減少の2億3千5百万円となりました。経常利益につきましては、営業外収益として為替予約の実現益を計上したものの、前年同期比では3千1百万円減少の3億3百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、特別損益に特筆すべきものがなかったこともあり、前年同期比7百万円増加の2億1千1百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### (家具・家庭用品事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比7.6%減少の58億5千4百万円となりました。OEM事業では、欧州向け家庭用品の売り上げが増加したことを主因に、海外向け売り上げは増加しましたが、国内向けの売り上げが家具・家庭用品ともに減少した結果、OEM事業全体で売り上げ減少となりました。ブランド事業では、家具・インテリアのネットショップ「MINT（ミント）」の売り上げは順調に伸長しましたが、ドイツブランド「WMF（ヴェーエムエフ）」や「Silitt（シリット）」等の高級キッチンウェアを販売するヴェーエムエフジャパンコンシューマーグッズ㈱の売り上げが減少しました。

セグメント利益については、売上高は減少したものの、売上総利益率の改善や販管費の抑制により、前年同期比5千9百万円増加の4億7千7百万円となりました。

#### (服飾雑貨事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比7.7%減少の26億7千2百万円となりました。国内向け海外向けともに主にトラベル商材の売り上げが減少した結果、OEM事業の売り上げは減少となりました。ブランド事業においては、ドイツのコンフォートシューズブランド「BIRKENSTOCK（ビルケンシュトック）」等を販売する㈱ベネクシーの売り上げが前年実績を上回った一方、ベルギー発のプレミアム・カジュアルバッグブランド「Kipling（キプリング）」を販売する㈱L&Sコーポレーションの売り上げは減少となりました。

セグメント利益については、売上高の減少により、前年同期比1億2千4百万円減少の1億4千7百万円の損失となりました。

#### (家電事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比26.4%減少の12億5千1百万円となりました。OEM事業では、小物生活家電の売り上げが海外向けでは増加した一方、国内向けでは減少しました。また、三發電器製造廠有限公司の売り上げは前年実績を下回りました。ブランド事業においては、「Vitantonio（ビタントニオ）」ブランドの調理家電の売り上げ減を主因に、㈱mhエンタープライズの売り上げが減少となりました。

セグメント利益については、売上総利益率が改善し販管費も抑制されたものの、売上高が減少したことから、前年同期比7千3百万円減少の1千4百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ21億9千1百万円減少の208億6千5百万円となりました。

主な資産の変動は、「商品及び製品」が5億5千6百万円増加した一方、「現金及び預金」、「受取手形及び売掛金」が、それぞれ13億6百万円、19億7千3百万円減少しております。

主な負債の変動は、「支払手形及び買掛金」、「短期借入金」が、それぞれ11億3百万円、8億円減少しております。

主な純資産の変動は、「その他有価証券評価差額金」が2億3千5百万円増加した一方、「繰延ヘッジ損益」が2億3千9百万円減少しております。

この結果、自己資本比率は60.9%、1株当たり純資産は5,319円73銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想については、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,859,144	1,553,138
受取手形及び売掛金	6,024,595	4,050,852
商品及び製品	6,381,831	6,938,254
仕掛品	55,154	56,651
原材料及び貯蔵品	131,688	109,194
繰延税金資産	71,092	178,558
前渡金	193,019	157,763
前払費用	116,464	122,956
その他	1,006,961	735,824
貸倒引当金	△4,465	△3,219
<b>流動資産合計</b>	<b>16,835,487</b>	<b>13,899,973</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	1,302,624	1,313,731
機械装置及び運搬具(純額)	144,573	134,308
工具、器具及び備品(純額)	192,209	217,644
土地	792,104	792,104
リース資産(純額)	20,006	17,774
建設仮勘定	23,683	55,935
<b>有形固定資産合計</b>	<b>2,475,201</b>	<b>2,531,499</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>326,365</b>	<b>658,392</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,702,351	3,046,975
長期貸付金	13,899	13,734
繰延税金資産	38,052	38,760
破産更生債権等	844	969
その他	711,346	722,118
貸倒引当金	△46,515	△46,478
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>3,419,978</b>	<b>3,776,079</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>6,221,544</b>	<b>6,965,971</b>
<b>資産合計</b>	<b>23,057,032</b>	<b>20,865,945</b>

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,430,544	1,326,701
短期借入金	2,500,000	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	50,000	—
リース債務	9,401	9,401
未払法人税等	385,726	115,998
賞与引当金	430,685	328,852
役員賞与引当金	52,228	15,808
未払金	1,450,359	1,476,032
未払費用	392,335	315,495
未払消費税等	31,450	37,764
商品自主回収関連損失引当金	10,955	—
繰延税金負債	20,823	31,575
その他	468,726	520,569
流動負債合計	8,233,236	5,878,201
固定負債		
長期借入金	1,150,000	1,200,000
リース債務	11,738	9,388
繰延税金負債	503,591	615,147
再評価に係る繰延税金負債	70,058	70,058
退職給付に係る負債	165,695	163,379
役員退職慰労引当金	36,162	37,274
資産除去債務	63,183	63,372
その他	15,407	14,846
固定負債合計	2,015,837	2,173,466
負債合計	10,249,073	8,051,667
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,914	1,000,914
資本剰余金	656,774	661,332
利益剰余金	9,514,307	9,486,810
自己株式	△217,574	△213,963
株主資本合計	10,954,421	10,935,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,210,904	1,446,597
繰延ヘッジ損益	373,160	133,712
土地再評価差額金	113,767	113,767
為替換算調整勘定	48,839	86,114
その他の包括利益累計額合計	1,746,672	1,780,192
新株予約権	87,010	78,773
非支配株主持分	19,854	20,218
純資産合計	12,807,958	12,814,277
負債純資産合計	23,057,032	20,865,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	11,614,130	10,404,415
売上原価	8,586,369	7,481,043
売上総利益	3,027,760	2,923,371
販売費及び一般管理費		
販売費	616,379	656,402
一般管理費	2,005,155	2,031,954
販売費及び一般管理費合計	2,621,534	2,688,356
営業利益	406,226	235,015
営業外収益		
受取利息	1,974	2,517
受取配当金	20,864	21,080
為替差益	—	50,527
デリバティブ評価益	6,348	—
その他	4,225	3,432
営業外収益合計	33,413	77,559
営業外費用		
支払利息	11,763	7,975
為替差損	92,768	—
デリバティブ評価損	—	946
その他	265	438
営業外費用合計	104,797	9,360
経常利益	334,842	303,213
特別利益		
固定資産売却益	1,724	—
投資有価証券売却益	—	999
特別利益合計	1,724	999
特別損失		
固定資産除却損	41	1,532
火災関連損失引当金繰入額	68,242	—
特別損失合計	68,283	1,532
税金等調整前四半期純利益	268,283	302,680
法人税、住民税及び事業税	74,158	100,166
法人税等調整額	△10,006	△9,095
法人税等合計	64,152	91,070
四半期純利益	204,130	211,610
非支配株主に帰属する四半期純利益	259	364
親会社株主に帰属する四半期純利益	203,870	211,245



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	204,130	211,610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,336	235,693
繰延ヘッジ損益	△374,924	△239,448
為替換算調整勘定	△129,867	37,274
その他の包括利益合計	△484,456	33,520
四半期包括利益	△280,325	245,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△280,585	244,765
非支配株主に係る四半期包括利益	259	364

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

② 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家具・家庭用 品事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,337,985	2,895,116	1,701,141	10,934,243	679,887	11,614,130	—	11,614,130
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,857	2,468	5,326	13,653	18,979	△18,979	—
計	6,337,985	2,897,973	1,703,610	10,939,569	693,540	11,633,109	△18,979	11,614,130
セグメント利益又 は損失(△)	418,340	△22,193	88,073	484,220	△19,122	465,098	△58,872	406,226

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△58,872千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家具・家庭用 品事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,854,188	2,672,915	1,251,653	9,778,756	625,658	10,404,415	—	10,404,415
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,478	3,050	2,576	7,105	13,851	20,957	△20,957	—
計	5,855,666	2,675,965	1,254,230	9,785,862	639,509	10,425,372	△20,957	10,404,415
セグメント利益又 は損失(△)	477,847	△147,095	14,997	345,750	1,394	347,144	△112,129	235,015

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△112,129千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。